

2021

ひたち物語

3

Month

Vol.3

～ひたちらしさの数々～

“ひたちの

Only one, Number one”





私たちの故郷日立市。
明治時代以降、鉱業や電気機械工業の発展とともに成長した日本有数の工業都市として知られています。
また、西は阿武隈山地、東は太平洋に望み、豊かな自然と穏やかな気候に恵まれ、春には市内一円が桜色に染まるさくらのまちでもあります。

さらに、農林水産業も盛んで、おいしい魚や野菜、果物に恵まれるなど、様々な表情を併せ持っています。
日立市固有のものや、他に比べ独自性・優位性を持つものなどの「ひたちらしさ」を紹介する「ひたち物語」。
Vol. 3では、バラエティに富んだ「オンリーワン・ナンバー

ワン」を取り上げます。
私たちの身近にあり、日々の生活にとけこみ、当たり前のように感じている『ひたちらしさ』は、実は魅力的な物語を紡いでくれます。
是非、これらの物語をお楽しみいただき、皆さんもオリジナルの物語を紡いでみてください。

ひたちのオンリーワン・ナンバーワン

日立市には、日本のみならず、世界にも誇れるオンリーワン・ナンバーワンが数多くあります。今回は、シンボリックな存在である4つのオンリーワン・ナンバーワンをご紹介しますとともに、それ以外にもユニークな「日立自慢」の数々をお届けします。
これを見たら、“個性的”な日立市をもっと好きになるかもしれません。

～ Contents ～

| | |
|-----------|----|
| カンブリア紀地層 | 04 |
| 大煙突 | 06 |
| 日立市天気相談所 | 08 |
| 日立紅寒桜 | 10 |
| 「日立自慢」の数々 | 12 |



「日本列島誕生の鍵を握る

日本最古の地層」

日立市から常陸太田市にかけての山地で発見された「カンブリア紀地層」は、日本で最も古い約5億年前の地層であり、古生代の日本の地層の成り立ちを知るうえで極めて貴重なものです。

日立市郷土博物館特別専門員で茨城大学名誉教授の田切美智雄氏は、2008（平成20）年、日立変成岩の一部が約5億6000万年前のカンブリア紀のものであることを発見・発表しました。

それまで日本最古とされてきたのは岐阜県のオルドビス紀（約4億9000万～4億4000万年前）の地層でしたが、この発見で、日本列島ができあがる遙か昔、ゴンドワナ超大陸時代からの大陸の変遷や日本の成り立ちが分かるのではないかと期待されています。

市内では、主に小木津山自然公園と小木津不動滝付近の東連津川流域で、この日本最古の地層を観察することができます。

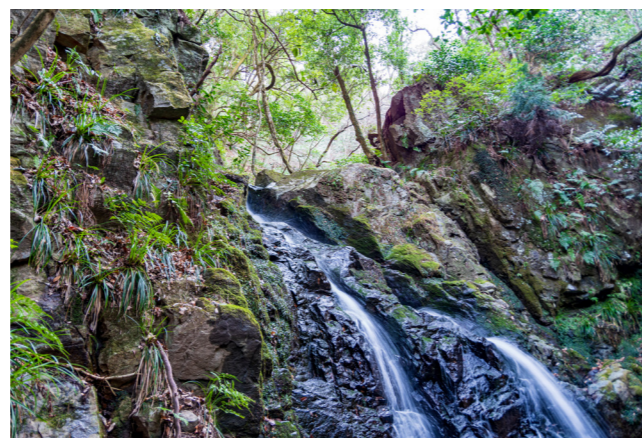
さらに、2014（平成26）年には、宮田川不動滝地下にある「日立鉬山鉬床※」の銅鉬石を調べたところ、5億3300万年前のものであることが分かり、日本最古の地層の年代値が更新されました。

また、2019（令和元）年には、東北大学を中心とするグループが、この鉬床から、新鉬物「日立鉬」を発見しました。茨城県内から新鉬物が発見されたのは初めてであり、この発見は、地層が形成された頃の地球の環境がどのようなようであったかを知る手がかりとなり、さらには新材料開発への寄与が期待されます。

※「鉬床」とは、特定の鉬物が密集している部分



2008（平成20）年、茨城大学理学部の田切美智雄教授（当時）の研究チームが、小木津山自然公園の入口付近で、日本で初めてカンブリア紀の地層を発見しました。園内の他の場所でも、約5億年前の花こう岩が露出している様子を観察することができます。



カンブリア紀の地層は、小木津山自然公園の近くを流れる東連津川流域で観察することができます。また、川の上流には約5億年前の花こう岩により形成された小木津不動滝があります。



日立市郷土博物館は、1975（昭和50）年、茨城県内初の市町村立博物館として開館しました。展示活動のほか、講座・体験会、学習会、講演会、ワークショップ（制作体験）なども随時開催しています。さらに館発行の図書資料、日立に関する資料などの閲覧・頒布も行っています。

<基本情報>

【所在地】

日立市郷土博物館（日立市宮田町5-2-22）
小木津山自然公園（日立市小木津町字小木津山4194-2）
小木津不動滝（日立市小木津町地内）
東連津川（日立市小木津町地内）

【問合せ先】

日立市郷土博物館 TEL 0294-23-3231

【URL等】

日立市郷土博物館ホームページ (<https://www.city.hitachi.lg.jp/museum/index.html>)

〃 Facebook (@hitachicityhakubutsukan)

〃 Twitter (@HitachiMuseum)

「鉬工業都市発展のシンボル

世界一高い煙突」

「大煙突」は、日本4大銅山の1つと謳われた日立鉬山がその発展に伴う煙害を克服するため、1914（大正3）年3月に工事着工、同年12月に完成し、1915（大正4）年3月1日から使用が開始された、高さ155.75mにもなる煙突です。

日立鉬山の創業者久原房之助は、大煙突建設に反対の意見が多い中、「この大煙突は日本の鉬業発展のための一試験台として建設するのだ」と説き、建設の決断をしました。

この煙突の建設は、当時の日本国内では、まだ技術が確立されていなかった「鉄筋コンクリート造」を導入し、工事で使用した足場丸太は30,000本、作業に従事した人の数は36,840人と、まさに「大工事」でした。また、完成当時は「世界一の高さ」であったにも関わらず、着工から使用開始までわずか1年という驚異的なスピードで建設されました。この煙突によって煙を拡散することが可能となり、日立鉬山の経営の重荷となっていた煙害問題の軽減に役立ちました。

しかし、1993（平成5）年2月19日、約3分の1を残して倒壊してしまいました。倒壊後に改修が行われ、高さは54mとなりましたが、現在も煙突としての利用が続けられています。

また大煙突の建設は、住民と企業の共存共栄への足跡を描いた、昭和の文豪新田次郎氏の小説「ある町の高い煙突」に取り上げられ、その存在が広く知られるようになりました。この小説は、2019（令和元）年6月に映画化されて、全国で上映され、鉬工業都市として発展してきた日立市の歴史と誇りを伝えています。



<基本情報>

【所在地】

日鉬記念館（日立市宮田町 3585）

中里発電所（日立市東河内町 2955-2）

【問合せ先】

（「大煙突」について）

日鉬記念館 TEL 0294-21-8411

（「中里発電所」について）

東京発電株式会社茨城事業所 TEL 0294-24-5311

【URL】

日鉬記念館ホームページ（<https://www.nmm.jx-group.co.jp/museum/>）



なかざとほつでんしよ
中里発電所は、1908（明治41）年に当時の日立鉬山の重要な電力源として建設された茨城県内で最も古い、川の水をそのまま引き込む「流れ込み式」の水力発電所です。市内西部を流れる里川沿いに位置するこの発電所から、山を越えて日立鉬山へ送電していました。



提供：日立市郷土博物館

写真は1917（大正6）年頃の大煙突と日立鉬山大雄院製錬所の様子を撮影したものです。大煙突建設後は、煙害は急速に減少し、枯れ果てた山々を蘇らせるため、煙に強いオオシマザクラなどを植林しました。



市内には、日立市発展の原点でもある日立鉬山の歴史を展示した産業資料館「日鉬記念館」があります。日立鉬山の歴史や大煙突を紹介する本館のほか、鉬山で使用したコンプレッサー・削岩機や鉬石を展示した鉬山資料館があります。



「日立市の天気と市民を見守る 全国初・唯一の市営天気相談所」

ひたちしてんきそうだんじょ
「日立市天気相談所」は、気象業務法上の天気予報業務許可を取得し、市内の天気・気象に関する業務を取り扱っています。

この許可を取得している地方自治体は、全国で日立市と広島県広島市の2団体だけであり、市役所に気象予報士が所属し、独自の天気予報を行っているのは、日立市だけです。

元々、日立鉱山が、煙害対策のために神峰山頂に設置した気象観測所を、中央気象台（現在の気象庁）の存続要望を受けて日立市が引き継ぎ、1952（昭和27）年6月1日に全国初の市営天気相談所として開設したのが始まりです。

観測施設としては、総合観測施設1箇所（市役所本庁舎）のほか、機械による自動観測を行う観測所6箇所（十王観測所、北部観測所、本山観測所、西部観測所、諏訪観測所、南部観測所）の計7箇所の観測所を設置しています。台風や大雨、強風などが予想される際は、市内の状況を詳細に分析するなど、市の災害対策にも貢献しています。

毎日気象観測を行い、1日2回の天気予報をホームページで公開するほか、気象に関する講演会、出前講座、ケーブルテレビの行政放送番組での情報発信などを行っています。

直木賞作家新田次郎氏の友人であった、初代所長の山口秀男氏が、新田氏に日立鉱山の大煙突を紹介したことがきっかけとなり、小説「ある町の高い煙突」が誕生しました。日立市の歴史を伝えるこの小説は、天気相談所がなければ生まれなかったかも知れません。



神峰山の山頂にある旧神峰山観測所。日立鉱山の煙害対策から始まった気象観測の歴史は終えましたが、現在は行政防災無線の基地局として、市民の生活を守るため、新たな役割を担っています。



1952（昭和27）年に開設された天気相談所は、市役所庁舎の建替えなどの変遷を経て、現在、廊下の窓から大煙突を望める本庁舎4階山側フロアにあります。所属する気象予報士4名により、日々、最新の市内の気象観測結果が発信されています。



現代の気象観測は「機械」による観測がほとんどですが、ここ天気相談所では、「機械」に加え「人間の目」による観測を開設当初から継続して行っており、データと経験から、日々の気象変化を読み取っています。

<基本情報>

【所在地】

日立市役所本庁舎4階山側（日立市助川町1-1-1）

【問合せ先】

日立市天気相談所 TEL 0294-22-5520

【URL等】

「日立市の気象と天気予報」ホームページ (<https://www.jsdi.or.jp/~hctenso/>)

「日立市の防災と天気」

Facebook (@hitachicity.bousai.tenki)

Twitter (@HitachiCity_BT)

「さくらのまちで生まれた 日立市固有の品種」

春になると市内は美しく咲き誇る桜でいっぱいになります。日立市のシンボルであり、「市の花」にも指定されている桜は、市民と企業が力を合わせて煙害を克服した、力強い歴史の上に育まれました。

そんな「さくらのまち 日立市」には、一足早い春の訪れを告げる「日立紅寒桜」があります。花は一重咲、淡い紅色、咲き始める時期が1月中旬と早く、3月上旬に見頃を迎えます。短期間で一気に咲き誇るソメイヨシノとは異なり、少しずつ開花し、長い間花が楽しめる、大変珍しい品種です。

2001（平成13）年に市民公募により、花の特徴とこの土地にしかない桜を末永く守っていききたいとの願いから命名された日立紅寒桜は、2006（平成18）年8月に日立市固有の桜として、種苗法に基づき農林水産省に品種登録されました。（品種名：日立紅寒）

JR 小木津駅構内にあった原木は、日高交流センターに移植後、枯れてしまいましたが、「芽接ぎ（台木に新芽の部分の刺し込む接ぎ木の方法）」等により生まれたクローン苗木が市内の各所に植栽されました。現在、市内では日高交流センターをはじめ、かみね公園、多賀市民プラザ、JR 日立駅中央口広場などで約280本の日立紅寒桜を見ることができます。

このほかにも、「おぎつやよい」と「ひたち雅」が、新たな日立市固有の品種として登録され、日立市の春に彩りを添えています。



<基本情報>

【所在地】

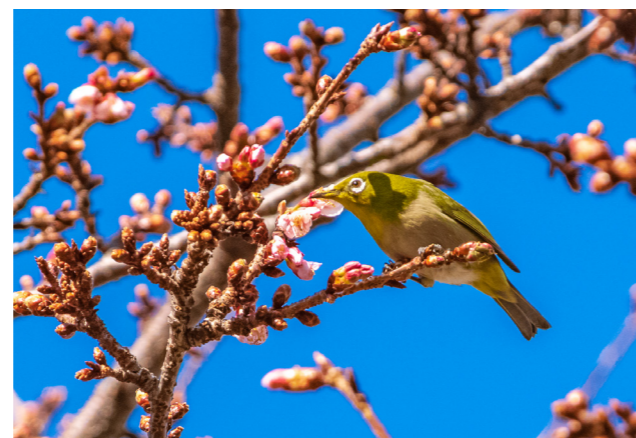
かみね公園（日立市宮田町 5-2-22）
日高交流センター（日立市日高町 2-2-1）
多賀市民プラザ（日立市千石町 2-4-20）

【問合せ先】

日立市さくら課 TEL 0294-22-3111

【URL】

日立市さくら課ホームページ (<https://www.city.hitachi.lg.jp/dept/050000/131700/index.html>)



写真は2021（令和3）年1月下旬に撮影された日立紅寒桜の様子です。極早咲きの特徴を持っており、2021（令和3）年は、1月13日に開花しました。



かみね公園内に植栽されている日立紅寒桜。かみね公園は日本の「さくら名所100選」にも選定されており、園内には約25種類、1,000本の桜が植えられています。緑黄色の花を咲かせる「御衣黄」や黄緑色の花を咲かせる「鬱金」など珍しい桜を見ることができます。



かみね公園の日立市・十王町合併記念碑のある広場（吉田正音楽記念館山側）に植えられた日立紅寒桜。2021（令和3）年は、2月中旬に見頃を迎え、訪れた人々の目を喜ばせる、淡い紅色の花が美しく咲き誇っていました。



Hi タッチらんど・ハレニコ!

屋内型の遊び場としては北関東最大級で、0～12歳までのお子さんとその保護者の方が、天気を気にすることなく、様々な遊具を使って遊ぶことができる施設です。乳児を対象としたベビーゾーンや、思いきり身体を動かして遊べるアクティブゾーンなど、年齢に応じた遊び方ができます。

【所在地】日立市幸町 1-16-1 イトーヨーカドー日立店 4階
【TEL】0294-87-6040
【URL】<https://hareniko.com/>

こくみんしゆくしゃ う みさき 国民宿舎 鵜の岬

宿泊利用率が31年連続全国第1位を記録する国民宿舎です。リーズナブルな宿泊料金にも関わらず、まるで高級ホテルのような満足感を得られるということが、人気の理由の1つです。「予約が取りにくい」宿としても有名ですが、予約受付開始日に電話をしたり、ホームページの空室情報を確認すると泊まれるチャンスがあるそうです。

【所在地】日立市十王町伊師 640
【TEL】0294-39-2202
【URL】<http://www.unomisaki.com/>



ほかくば ウミウ捕獲場

ウミウの捕獲は、伊師浜海岸の断崖絶壁、高さ約15mのところの設けられた「鳥屋(丸太とコモで作られた小屋)」の中で行われています。捕獲したウミウは、全国12箇所の鵜飼地のうち、長良川をはじめとする11箇所へ供給されており、日立市は**全国で唯一のウミウの捕獲・供給地**になっています。

この捕獲場は7月～9月、1月～3月に一般公開しています。
【所在地】日立市十王町伊師 640
【TEL】日立市観光物産課 0294-22-3111



えき はっしゃ 駅の発車メロディー

昭和の歌謡曲を数多く手がけた日立市出身で国民栄誉賞を受賞した作曲家・吉田正氏の功績を称え、市内のJR常磐線各駅では、**発車メロディー**に吉田氏の作品を使用しています。

| 駅名 | 上り | 下り |
|-------|-----------------------|---------------------------|
| 十王駅 | いつでも夢を (橋幸夫、吉永小百合) | 若い港 (三田明) |
| 小木津駅 | | 明日は咲こう花咲こう (吉永小百合、三田明) |
| 日立駅 | | 寒い朝 (吉永小百合) |
| 常陸多賀駅 | | 公園の手品師 (フランク永井) |
| 大甕駅 | | 恋のメキシカンロック (橋幸夫) |

【TEL】日立市文化・国際課 0294-22-3111



かいすいよくじょう 海水浴場

日立市の海岸線には、美しい砂浜と澄んだ海水が自慢の**6箇所の海水浴場**があります。伊師浜・河原子・水木の3箇所の海水浴場は環境省選定の「快水浴場百選」に選ばれており、伊師浜海水浴場は「日本の白砂青松百選」の1つでもあります。

【所在地】
伊師浜海水浴場 (十王町伊師) 河原子海水浴場 (河原子町)
川尻海水浴場 (川尻町) 水木海水浴場 (水木町)
会瀬海水浴場 (会瀬町) 久慈浜海水浴場 (久慈町)
【TEL】一般社団法人日立市観光物産協会 0294-24-7978



しちょうかく 視聴覚センター

学校、幼稚園、保育園や地域住民の方々に教育メディアに関するサービスを提供する**茨城県内では唯一**の専門施設です。映像教材・機材の貸出や施設内外での映画会の開催、郷土映像資料等の収集・保存のほか、映像教材の自主制作・公開 (YouTube 配信) などを行っています。

【所在地】日立市幸町 1-21-1 日立シビックセンター地下1階
【TEL】0294-24-5055
【URL】<https://www.city.hitachi.lg.jp/havc/index.html>

だいしょうがい 大障害

日立市発祥の遊具といわれています。斜めになった木製の壁を駆け上がり、ぶら下がる鎖につかまり登る遊具です。市内小学校の6割に設置されており、これほど普及しているのは、おそらく日立市だけです。日立市出身の子どもたちが最も記憶に残っている遊具に挙げる、日立市ならではの遊具です。

【URL】<https://www.city.hitachi.lg.jp/citypromotion/hitachikaze/boasts/no1/p068340.html>



パンポン

1921 (大正10)年頃に、株式会社日立製作所の工場で、社員のレクリエーションとして始められた、**日立市発祥の球技**です。木の板で作られた「ラケット」と、木製の「ネット」で行うテニスと卓球を掛け合わせた球技で、軟式テニス用のゴムボールを用いる競技です。2019 (令和元)年の「いきいき茨城ゆめ国体・ゆめ大会」では、日立市のデモンストラティオンスポーツとして大会が開催されました。

【TEL】公益財団法人日立市体育協会 0294-36-6661
【URL】<https://www.hasa.or.jp/panpon/>



日立 LNG 基地

茨城港日立港区第5ふ頭地区に、今後の更なる都市ガス需要の増加への対応、及び関東圏全域の供給安定性の向上等を目的に2016（平成28）年3月に整備されたLNG（液化天然ガス）の貯蔵、都市ガス製造施設です。海上には、海外からLNGを運搬してくる船舶を受け入れるための大型栈橋があり、約14haの敷地には地上式では**世界最大級の大きさとなるLNG貯蔵タンク**（23万kl）が整備されています。なお、タンクの屋根には日立市の花である「さくら」が描かれています。
【所在地】日立市留町地内

日立風流物

日立風流物は、日立市の伝統芸能であり、1959（昭和34）年に、山車として**国内で初めて国の重要有形民俗文化財**、1977（昭和52）年には国の重要無形民俗文化財、2009（平成21）年にはユネスコ無形文化遺産に指定されました。7年に1度の「神峰神社大祭礼」や毎年4月開催の「日立さくらまつり」で披露される、重さ5t、高さ15mにもおよぶ豪華な山車や五層のからくり舞台上で演じられる操り人形芝居は必見です。
【TEL】日立市郷土博物館 0294-23-3231
【URL】<https://www.city.hitachi.lg.jp/museum/page/p074706.html>



日立灯台

古房地公園内に立ち、地元の方からは水木灯台、大みか灯台とも呼ばれ親しまれている、和ろうそくの形の白亜の灯台です。**茨城県沿岸では唯一、巨大なレンズ（3等大型レンズ）を使用した灯台**となっており、強い光を発生し、沖を航行する船舶の目印として海の安全を守っています。
【所在地】日立市大みか町地内
【TEL】茨城海上保安部 029-263-4118

北限みかん

国内で露地栽培されている**みかんの北限**とされるのが、日立市十王町内で栽培されるみかんです。しっかりした味はこの土地ならではの、主に「宮川早生」という品種で、すっきりとした酸味が特徴です。このみかん園では、1961（昭和36）年頃から栽培を始め、100本近くのみかんの木が植えられています。
【所在地】日立市十王町山部地内
【TEL】日立市十王商工会 0294-39-2086
【URL】<https://r.goope.jp/srb-08-27>



ポポー

ポポーは、果実が傷みやすく、販売・流通はほとんどないことから、「幻の果実」と言われています。日立市十王町では、**全国で初めてポポーを商品化**し、特有の甘くふくよかな香りを活かしたデザートワインやアイスクリームを開発し、いずれも人気商品となっています。
【所在地】日立市十王町伊師地内
【TEL】日立市十王商工会 0294-39-2086
【URL】<https://r.goope.jp/srb-08-27>



ランドセル・スクールカバン

1975（昭和50）年から小学校新1年生に、軽くて便利なファスナー式薄型**ランドセル**を入学式当日に贈呈しています。全ての新1年生が同じスタートラインに立てるように、入学のお祝いとして始まり、これまで10万個以上が贈られています。また、2020（令和2）年から、新たに市立中学校へ入学する新中学1年生への**スクールカバン贈呈**が始まりました。
【TEL】日立市教育委員会学務課 0294-22-3111
【URL】<https://www.city.hitachi.lg.jp/citypromotion/hitachikaze/boasts/no1/randoseru.html>

ワールドワイド・ピース・マーカー

「ワールドワイド・ピース・マーカー・プロジェクト」は、アメリカの造形作家ティーテ・バックロー氏発案の、世界平和への啓発を目的とし、各国に平和の象徴としてステンレス製マーカーを設置する事業です。日立市は**日本で唯一の設置都市**に選ばれ、2005（平成17）年8月に、日立駅前広場にある「平和の鐘」のそばに、世界で5番目に設置されました。
【所在地】日立市幸町1-1-1
【TEL】日立市文化・国際課 0294-22-3111
【URL】<https://www.city.hitachi.lg.jp/shimin/012/008/p060280.html>



奥日立きららの里 わくわくスライダー

東京ドーム10個分の敷地にオートキャンプ場やケビン棟、ふれあい牧場を有する自然体験型レクリエーション施設「奥日立きららの里」。**日本一長い滑り台**「わくわくスライダー」は、最高時速30km/hとスリル満点。全長1,188m、高低差約70mを一気に滑り降ります。帰りは、スレッド（ソリ）に乗ったままワイヤーで引き上げられて乗車場所に戻ります。
【所在地】日立市入四間町863-1
【TEL】奥日立きららの里 0294-24-2424
【URL】<https://kiraranosato.com/>



Twitter



Facebook



Instagram



YouTube



海から臨む日立市の景色

2021.3 発行

ひたち物語～ひたちらしさの数々～“*Only one, Number one*”

日立市市長公室

シティプロモーション推進課

茨城県日立市助川町1-1-1

TEL 0294-22-3111 内線 314

MAIL kochocp@city.hitachi.lg.jp

HP <https://www.city.hitachi.lg.jp/citypromotion/>

【アンケートご協力をお願い】



ご覧になった感想等をお聞かせください。